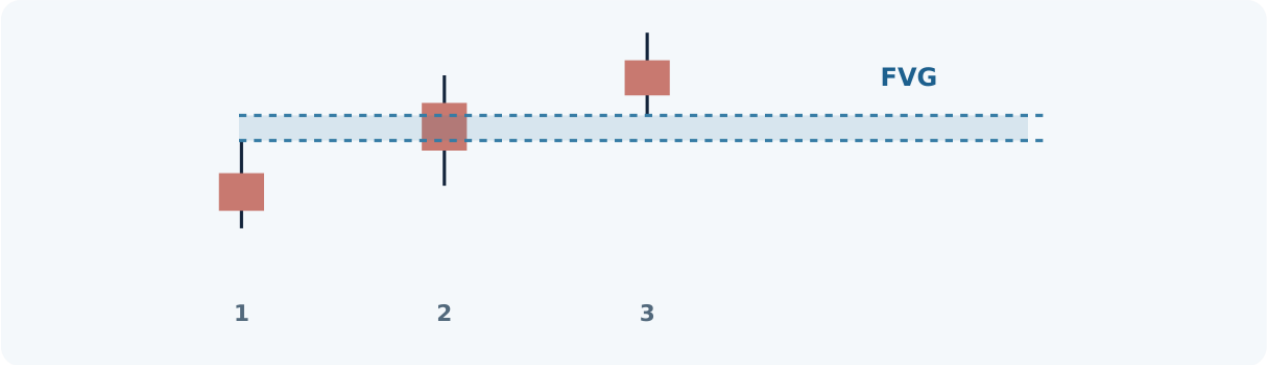
01 / ユーザーガイド

インジケーターの表示内容

SMC Venom Model BPR は MetaTrader 5 向けの視覚的な市場分析インジケーターです。**FVG（Fair Value Gap）** と **BPR（Balanced Price Range）** を検出し、価格ゾーンの描画、状態の追跡、複数時間足の同時分析を行います。

用語	意味
FVG — Fair Value Gap	3本のローソク足からなり、1本目と3本目の価格範囲の間にギャップがある形状。
BPR — Balanced Price Range	反対方向の2つのFVGに関連する構造。この実装では、その間の高値・安値も確認します。
MTF — Multi-Timeframe	別の時間足で検出されたゾーンを現在のチャートに表示する機能。
Bull / Bear	強気・弱気のパターン方向。自動的な売買指示ではありません。



図の強気FVGでは、1本目の高値が3本目の安値より低くなっています。パターンが確定するのは**3本目のローソク足が確定した後**です。

> **製品の目的。** 本製品は分析用インジケーターであり、EAではありません。注文を自動で発注・決済せず、利益が保証されたストップロスやテイクプロフィットも算出しません。

> 画面の言語. インジケーターのボタンと入力項目は英語表示です。このガイドでは説明文のみを翻訳し、項目名は英語のまま記載しています。言語切替機能はありません。

02 / ユーザーガイド

インストールと初回起動

MetaTrader 5 の MQL5 Market から購入済みのインジケーターをインストールし、SMC Venom Model BPR をチャートに追加します。保存済み設定がない初回起動では、**MTF Dashboard は最初から表示**され、Settings は非表示です。

最初の操作

手順	操作
1	MTF Dashboard を確認します。隠れている場合だけ **T** を押します。再度Tを押すと非表示になります。
2	他の時間足を表示するには、マスタースイッチを **OFF から ON** に切り替えます。
3	必要なTFボタンを有効化します。現在のチャートのゾーンも表示したい場合は、**現在のTFのボタンも有効化**してください。
4	**S** でSettingsを開き、TFを選んでMode、Count、Levels、Alertを設定します。



画像は設定済みの例です。ONでH1、H2、H4が有効になっています。初回起動時は、TFボタンはすべて無効です。

> **ON と OFF の違い。** OFFでは、現在のTFボタンが無効でも現在の時間足が表示されます。ONでは選択されたTFだけが表示されるため、現在のTFボタンを無効にするとそのゾーンも消える場合があります。

03 / ユーザーガイド

MTF Dashboard

Dashboard は現在の時間足と上位時間足のゾーンの**表示・非表示**を制御します。パターン検出、ゾーンの状態、通知設定は変更しません。



項目	動作
ON / OFF	ONは有効なTFレイヤーを表示し、OFFは現在のTFだけを表示します。
TFボタン	緑は有効、灰色は無効。黄色の文字は現在のチャートのTFです。
S	Settingsを表示または非表示にします。
– / T	シグナルを削除せずにDashboardを縮小・再表示します。

例としてM15チャートでONにしてM15、H1、H4を有効にすると、3つの時間足の該当ゾーンを同時に表示できます。H4のボタンを切るとH4レイヤーが消えます。

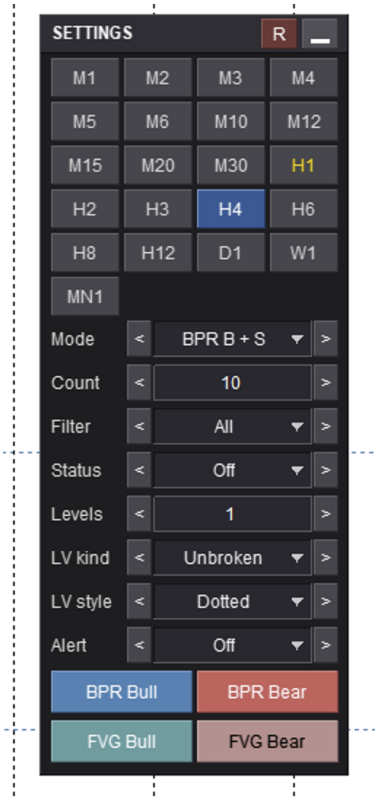
> **下位時間足と通知。** H1チャート上にM5のゾーンを独立したMTFレイヤーとして描画することはできません。ただしM5のアラートは設定できます。通知はレイヤーの表示状態とは独立しています。

どちらのパネルもタイトルバーをドラッグして移動でき、端や角をドラッグして大きさを変更できます。位置はターミナルに保存されます。

04 / ユーザーガイド

Settings パネル

S を押してSettingsを開きます。上部のTF一覧で設定対象を選びます。**青**は設定中のTF、**黄色の文字**は現在のチャートのTFを表します。



項目	機能
Mode	BPR/FVGの種類と強気・弱気方向を選択。
Count	表示するゾーンの長方形の最大数。
Filter	表示を許可するゾーン状態。
Status	処理済みゾーンを隠す、または状態別に色を変更。
Levels	右方向へ延長するゾーンの数の上限。
LV kind	Levelsの対象となる状態。
LV style	Dottedの点線境界、またはFilledの塗りつぶし。
Alert	新しいパターンの通知対象。
色ボタン	TFごとのBPR Bull/Bear、FVG Bull/Bearの色。
R	確認後、**現在の銘柄の全TF**の設定と色をリセット。

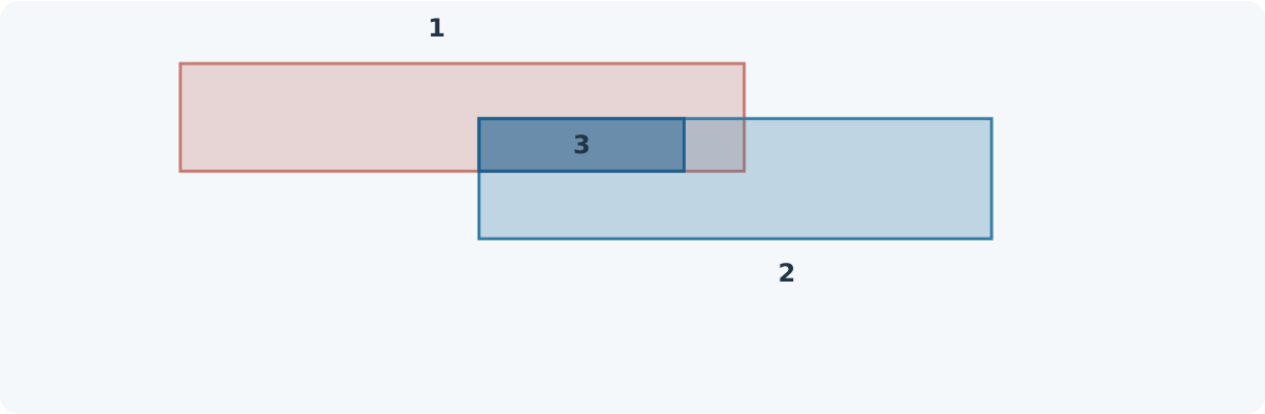
初期設定。 Mode = BPR + FVG、Count = 10、Filter = All、Status = Off、Levels = 0、LV kind = Unbroken、LV style = Dotted、Alert = Off。保存された設定がある場合はそちらが優先されることがあります。

Settings. 画像の Settings は1行4列に変更した例です。初期設定ではTFボタンは1行3列です。

05 / ユーザーガイド

BPRの構成

検出されたBPRは**必ずしも1つの長方形ではありません**。インジケーターは反対方向の2つのFVGと、追加のBPR接続領域を保持します。ブリッジ距離が正の場合、1つのBPRから最大3つの長方形が描画されます。



番号	描画されるもの
1. 最初のFVG	1つ目の構成要素。ツールチップにFVG UPやFVG DNと表示されることがあります。
2. 2つ目のFVG	1つ目と反対方向のFVG。
3. BPR領域	中間のローソク足の高値・安値で制限した追加の長方形。FVG全体の重複領域より狭い場合があります。

図では説明のため各要素を別の色で示しています。実際のチャートではBPRの各要素は通常同じ方向色になり、Status = Colorsのときは状態別の色に変わります。

BPR B + S は単独のFVGを非表示にしますが、検出されたBPRを構成するFVGは残します。そのため、BPRだけを選んでもツールチップに「FVG」という語が表示される場合があります。

> **Countは長方形の数です。** Count = 3なら1つのBPRが3枠を使う場合があり、Count = 1なら構成要素1つだけが表示される場合があります。これはグラフィックオブジェクトの数を制限する本来の仕様です。

06 / ユーザーガイド

Mode、Filter、Count

これらはSettingsでTFごとに設定します。パターンの種類、許可する状態、表示する長方形の数を順に制御します。

Mode	意味
BPR B + S / BPR Bull / BPR Bear	BPRの両方向／強気のみ／弱気のみ。
FVG B + S / FVG Bull / FVG Bear	単独FVGの両方向／強気のみ／弱気のみ。
BPR + FVG	両方のパターンを両方向で表示。

Filter	許可する状態
All	Fresh、Touched、Mitigated、Broken
Frsh + Tch	FreshとTouched
Not Brkn	Broken以外のすべて
Tch + Mit	TouchedとMitigated

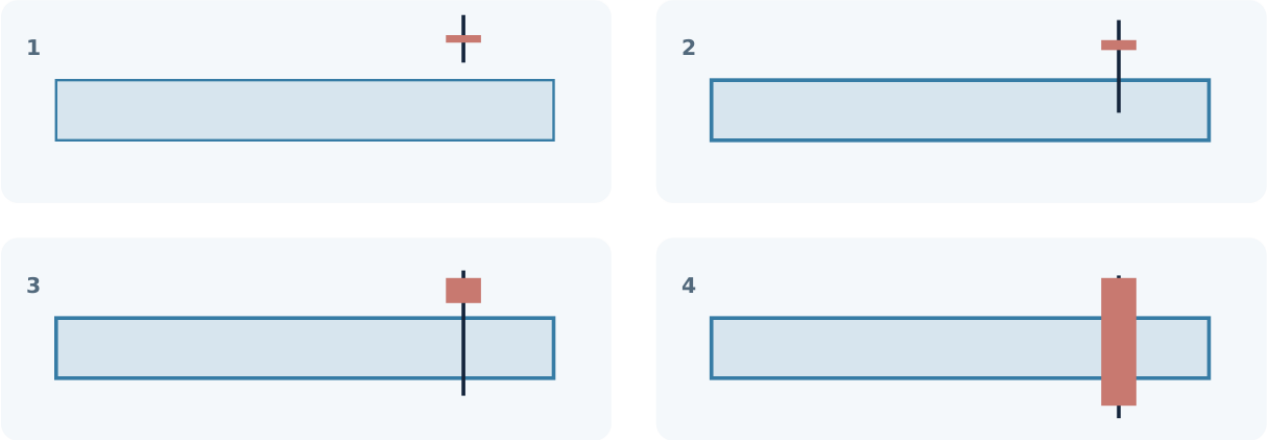
Count は、選択TFでフィルターを通過した長方形の数を制限します。5は最大5個、10は最大10個、**0**は履歴のスキャン範囲内で数の上限をなくします。入力範囲は0〜500です。

> **ゾーンの非表示とシグナルの停止は別です。** Filter、Status、Countは通常の長方形表示を制御します。長方形が隠れても矢印や通知が残ることがあります。

07 / ユーザーガイド

ゾーンのライフサイクル

状態は、そのゾーンに対して価格がどのように動いたかを表します。**遠い側の境界**は強気ゾーンでは下端、弱気ゾーンでは上端です。本指標では、ローソク足の高値または安値がこの境界に到達するとMitigatedと判断します。



状態	判定条件
1. Fresh	評価開始後、価格がまだゾーン内に入っていない。
2. Touched	ローソク足の値幅がゾーンに入ったが、遠い境界には到達していない。
3. Mitigated	高値・安値が遠い境界に到達、または通過した。
4. Broken	**確定したローソク足**が遠い境界の明確に外側で終値を付けた。

Status では、Offは特別な非表示や色変更をしません。Hide doneはMitigatedとBrokenを隠し、Colorsは状態別に色変更し、Col + Hideは両方を行います。状態色は共通のInputsで設定します。

> **新しいBPRでもFreshとは限りません。** 構成要素ごとに状態の評価開始時刻が異なります。BPR全体が初めて確定した時点でも、各要素が異なる状態になっている場合があります。ゾーン表示はチャートの新しい足や設定変更で再計算され、毎ティック更新されるわけではありません。

08 / ユーザーガイド

Levels：ゾーンを右へ延長

Levelは1本の水平価格線ではなく、**ゾーンの価格範囲全体**を右へ延長します。元の長方形と延長部分は別々のオブジェクトです。

設定	動作
Levels	0で無効。Nで価格より上に最大N個、下に最大N個を表示。範囲は0〜50。
LV kind = Unbroken	Fresh、Touched、Mitigated。Brokenは除外。
LV kind = Untouched	Freshのみ。
LV kind = Touched	TouchedとMitigated。
LV style = Dotted	点線の境界。太さは常に1。
LV style = Filled	塗りつぶし領域。境界線はLevel border widthで指定。

価格より上か下かは、再計算時のBidと**ゾーン価格範囲の中心値**を比較して決めます。近い順ではなく、条件に合う新しいオブジェクトから選ばれます。

Levelsの抽出は、通常の**Count**、**Filter**、および**Status**の非表示処理とは独立しています。元の長方形が隠れても延長部分が残ることがあります。対象状態はLV kindで指定します。



図の1は元のゾーン、2は延長、3は現在価格です。

> **長さとラベル。** 延長は現在のチャート範囲より少し右までで、無限には伸びません。長さだけを指定する設定はありません。文字表示はInputsのLevel labelsで制御します。

09 / ユーザーガイド

時間足ごとのアラート

SettingsのAlertはTFごとに設定できます。対象は**新しく確定したBPR/FVGパターン**であり、ゾーンへの接触、Mitigated、Broken、Levelsへの接近は通知対象ではありません。

Alert	対象
Off	このTFの通知なし。
BPR B + S / BPR Bull / BPR Bear	BPRの両方向／Bullのみ／Bearのみ。
FVG B + S / FVG Bull / FVG Bear	FVGの両方向／Bullのみ／Bearのみ。
BPR + FVG	両方の種類。さらに当該TFのModeの制限を受けます。

通知手段は**Inputs → Alerts (delivery)**のPopup alert、Push notification、Email、Soundで設定します。初期設定はPopupのみ有効です。Push/EmailはMT5ターミナルで設定が必要です。SoundはSoundsフォルダー内のWAVファイルを使用します。

メッセージ例：**EURUSD H4 BPR Bull signal**。Bull text / Bear textで方向を示す文字列を変更できます。

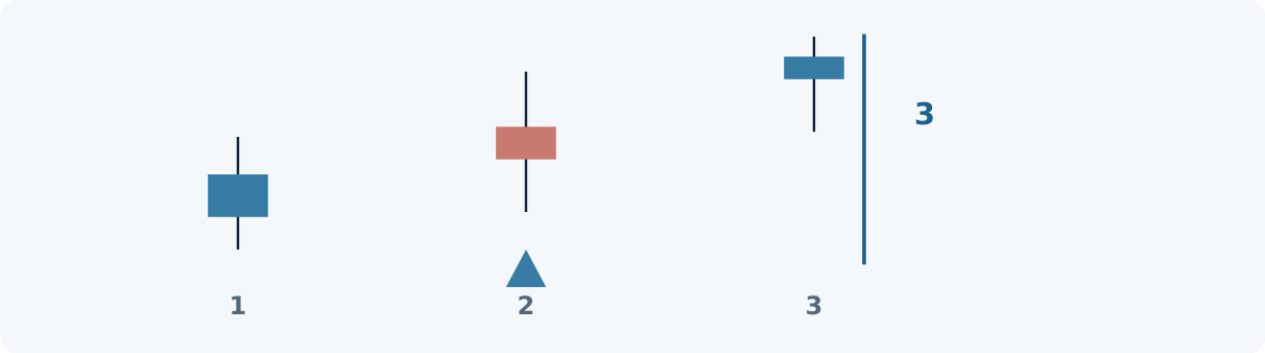
> **レイヤー表示と通知は独立しています。** 非表示のTF、DashboardがOFFの場合、または現在チャートより下位のTFでも通知が送られることがあります。停止するには対象TFでAlert = Offにするか、すべての通知方法を無効にしてください。

確定足1本につき、TFごとに最大1つの該当イベントを処理します。ストラテジーテスターでは通知手段に制限があるため、通常のターミナルで実際の受信を確認してください。

10 / ユーザーガイド

シグナルの矢印

矢印は**現在のチャート**用で、Alertとは独立して設定します。検出したBPR/FVGを示します。初期値はArrow signals = Do not drawです。



3本足のFVGは**3本目が確定した後**に確認できますが、履歴上の矢印は**2本目に表示**されます。矢印の位置は、2本目の時点でシグナルを把握できたことを意味しません。

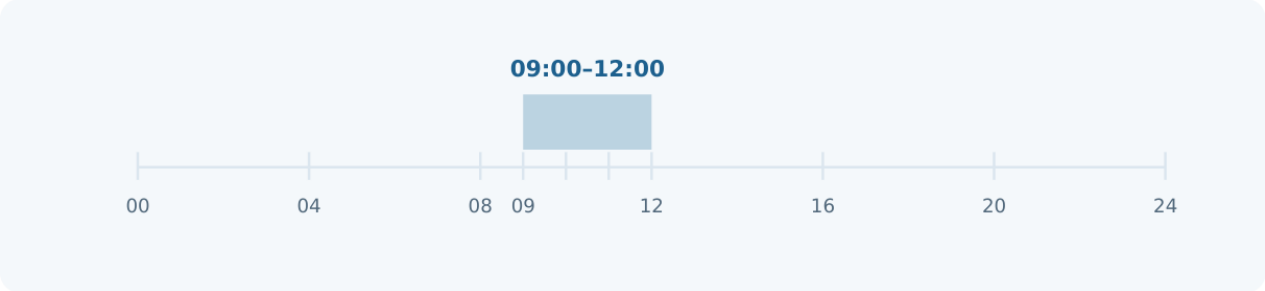
Inputs項目	機能
Arrow signals	Do not draw、BPR Bull/Bear、FVG Bull/Bear、BPR + FVG、および方向別の選択。
Up arrow (Wingdings)	強気側の記号コード。初期値233。
Down arrow (Wingdings)	弱気側の記号コード。初期値234。
Pixel offset from price	価格からの画面上の縦方向オフセット。初期値10ピクセル。
Up arrow color Down arrow color	強気と弱気の矢印の色を個別に設定。

矢印があるのにゾーンがない場合。 Countや通常のゾーン表示フィルターは矢印を制限しません。ただしDashboard ONで現在のTFボタンを切ると、そのTFの矢印も消えます。DRAW_ARROWのサイズはインジケータープロットの色設定で確認できます。

11 / ユーザーガイド

時間帯フィルターと検出設定

時間フィルターは、対象パターンのTFにおける**右端の確定用ローソク足の始値時刻**を判定します。PCの時刻、通知時刻、矢印の位置ではなく、ブローカーのサーバー時刻を使います。

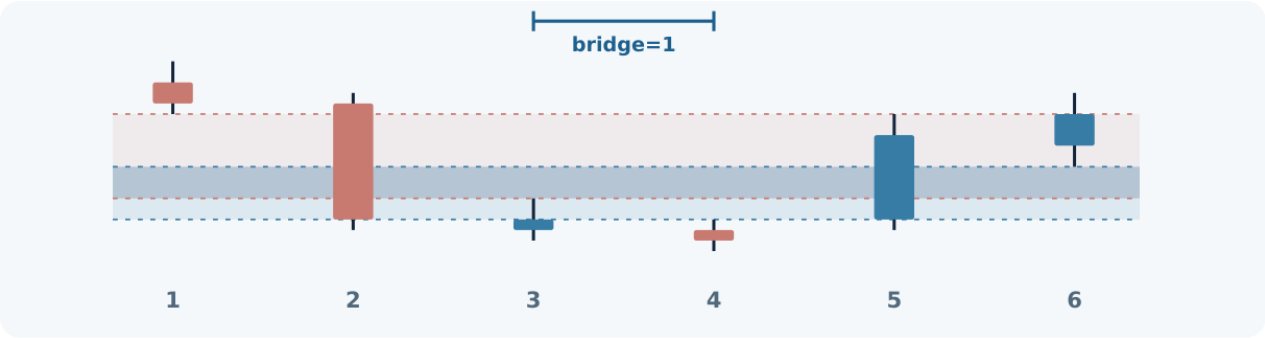


09:00〜12:00なら、09:00から11:59までに始まった足が対象です。H4で08:00と12:00に始まる足は両方対象外です。通常00:00に始まるD1、W1、MN1の足も除外されます。

初期設定**Start 00:00 / End 23:59**は終日を意味します。日付をまたぐ時間帯にも対応し、StartとEndが同じ値の場合もこの実装では終日を通します。

BPR min bridge bars / BPR max bridge bars

2つの反対方向FVGの境界足の間隔を、足のインデックスで測ります。bridge = 1なら境界足は隣接し、bridge = 0なら同じ足となり、独立したBPR接続長方形は描画されません。中間足の高値・安値も確認します。



検出条件に一致する合成OHLC例：1〜3本目が弱気FVG、4〜6本目が強気FVGです。境界足3と4は隣接するためbridge bars = 1です。

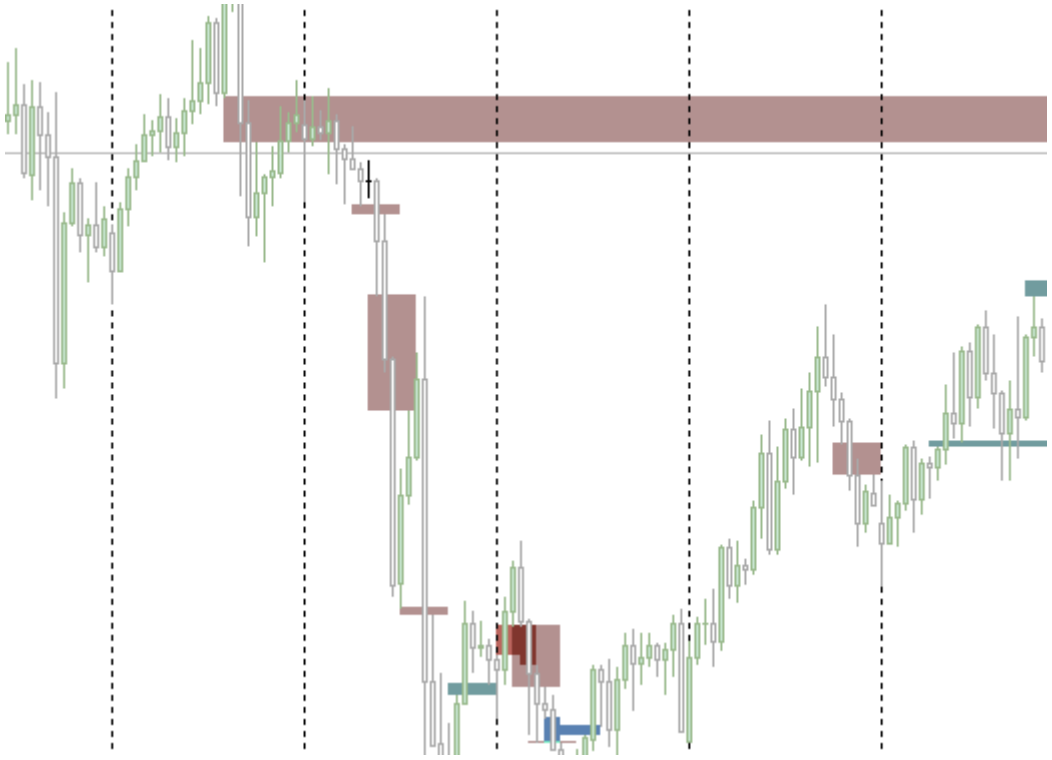
Inputs	初期値
BPR min bridge bars	1
BPR max bridge bars	10
Current TF bars to scan	1000
MTF bars to scan	300

12 / ユーザーガイド

色・ラベル・表示設定

Settingsは選択TFの設定に使用し、Inputsには全TF共通の表示項目もあります。下表の英語名はインジケーターに表示される名称を維持しています。

Inputs	機能
Fill zones	通常のゾーン長方形を塗りつぶす。
Border width	現在TFとMTF共通のゾーン枠線の太さ。
Show MTF labels	上位TFの通常ゾーンに時間足とパターン名を表示。
Level labels	MTF labelsとは別の延長ゾーンラベル。
Level border width	Filledの枠線の太さ。Dottedは常に1。
Touched / Mitigated / Broken	ColorsとCol + Hideで使用する共通の状態色。
Custom palette (popover)	パレットの12個のカスタムカラー。



実際のチャート上のゾーン例です。見た目はTFの色、Fill zones、Border widthの設定で変化します。

Settings下部のBPR Bull、BPR Bear、FVG Bull、FVG Bearボタンを押すと標準色とカスタム色を選べます。選択した色は銘柄とTFごとに保存されます。

> **境界線を目立たせたい場合。** InputsでFill zonesを無効化し、Border widthを増やしてください。検出方法は変わりません。独立した枠線色は現在設定できません。

13 / ユーザーガイド

保存・リセット・パネル

Settingsの変更内容は、ターミナルのグローバル変数により**銘柄とTFごと**に保存されます。同じ銘柄の別チャートはTF設定を共有しますが、起動済みインスタンス間で即座に同期されるとは限りません。

操作	結果
SettingsでMode / Count / 色を変更	その銘柄と選択TFに保存されます。
Inputs で What to detect などの初期値を変更	初期値の変更です。既存の保存済みTF設定が優先される場合があります。
	現在の銘柄の全TFの設定と色をInputsの現在のDefaultsに戻します。
Rで戻らないもの	共通Inputs、Dashboard主スイッチ、TFボタン、パネル位置。
パネルの移動・サイズ変更	位置とサイズは検出設定とは別に保存されます。

> **Inputsを変えても反映されない場合。** その銘柄のTF設定がすでに保存されている可能性があります。Settingsを確認してください。Rはその銘柄の全TFに影響するため慎重に使用してください。

Tと**S**は初期ショートカットです。Dashboard / panelのToggle key (T=84)、Settings panelのToggle key (S=83)で変更できます。反応しないときはチャートにキーボードフォーカスがあるか確認してください。

14 / ユーザーガイド

設定例：M15 + H4 + D1

目的： M15でBPRを分析し、H4とD1のゾーンも表示し、条件に合うH4ゾーンを延長し、新規H4 BPRだけ通知する。

段階	設定
1. チャート	M15を開いてインジケーターを追加。Dashboardが隠れていればTを押す。
2. 表示TF	マスターをONにし、M15、H4、D1を有効化。
3. ゾーン	SでSettingsを開いてH4を選択し、Mode = BPR B + S。他TFは必要に応じ個別設定。
4. 延長	H4でLevels = 1、LV kind = Unbroken、LV style = Dotted。
5. 通知	H4でAlert = BPR B + S、他TFはAlert = Off。InputsでPopup alertを有効化。
6. 確認	H4/D1の履歴、時間帯フィルター、設定の保存を確認。



図は両パネルを配置済みの例であり、初回起動直後の標準配置ではありません。

> **期待できる表示。** M15上に選択TFの利用可能なゾーンが現れます。元の長方形が隠れてもH4延長が残る場合があります。H4通知はDashboardの表示に依存しません。

15 / ユーザーガイド

表示上の問題を確認する

最初にインジケーターの動作とTFを確認し、その後Mode/Filter、最後に履歴のスキャン範囲を調べてください。最初からRを押すと銘柄の全TF設定がリセットされます。

ゾーンが表示されない

- インジケーターがチャートにあり、MTFの履歴が読み込まれているか確認します。**Loading history...** が出たらデータの取得を待ちます。
- Dashboard ONなら目的のTFボタンを有効にします。現在のチャートのTFも必要です。
- 切り分けにはMode = BPR + FVG、Filter = All、Status = Off、終日を対象とする時間帯設定を使います。
- Current TF bars to scan / MTF bars to scanを確認してください。調査対象範囲に条件を満たすパターンがない場合もあります。

ゾーンを隠したのに線が残る

LevelsはLV kindで独立して選ばれます。延長が不要ならLevels = 0にしてください。

BPR B + SでFVGも表示される

検出されたBPRの構成要素です。単独FVGは除外されますが、ツールチップにはFVG UPやFVG DNが残ることがあります。

矢印だけあり長方形がない

Arrow signalsとCount/Filterは別の機能です。通常ゾーンを隠しても矢印が残りますが、現在TFのレイヤーを無効にすると矢印も消えます。

> **TFが表示されない場合。** 下位時間足は上位チャートで独立MTFレイヤーとして描画されません。チャートの時間足を小さくして確認してください。通知は独立して機能する場合があります。

16 / ユーザーガイド

通知に関する質問とサポート

通知が届かない

- SettingsでTF、Alert、Modeを確認します。AlertはModeの種類制限を上書きできません。
- Popup alert、Push notification、Email、Soundの設定を確認します。Push/EmailはMT5ターミナル側でも試してください。
- 対象TFの確認足が確定し、その**始値時刻**がTime windowを満たすか確認します。過去のシグナルは通知待ちのキューには入りません。

Alertを有効にしても古いゾーンを通知しないのはなぜ？

Alertは新しく確定したパターンが対象で、過去のゾーン一覧を送信しません。TFごとに確定足1本につき最大1イベントが処理されます。

矢印が確定位置より左にあるのはなぜ？

3本足の中央を示すためです。実際に判定できるのは右端の足が確定した後なので、過去チャートの評価では注意してください。

Inputsの変更が適用されないのはなぜ？

保存済みのSettingsが優先されることがあります。銘柄とTFを確認してください。Rはその銘柄の全TFをリセットします。

インジケーターを外した後もゾーンを残せますか？

Remove zones when indicator removed = falseにすると、更新されない静的な長方形が残ります。再度インジケーターを付けると削除される可能性があります。1チャートにつき1つのインスタンスを使用してください。

> **お困りの場合は私にご連絡ください。** MQL5 Marketの製品ページまたはMQL5のプライベートメッセージからどうぞ。銘柄、TF、バージョン、ブローカーサーバー、発生時刻とともに、チャート・設定画面および関連するExpertsログの画像を添えてください。